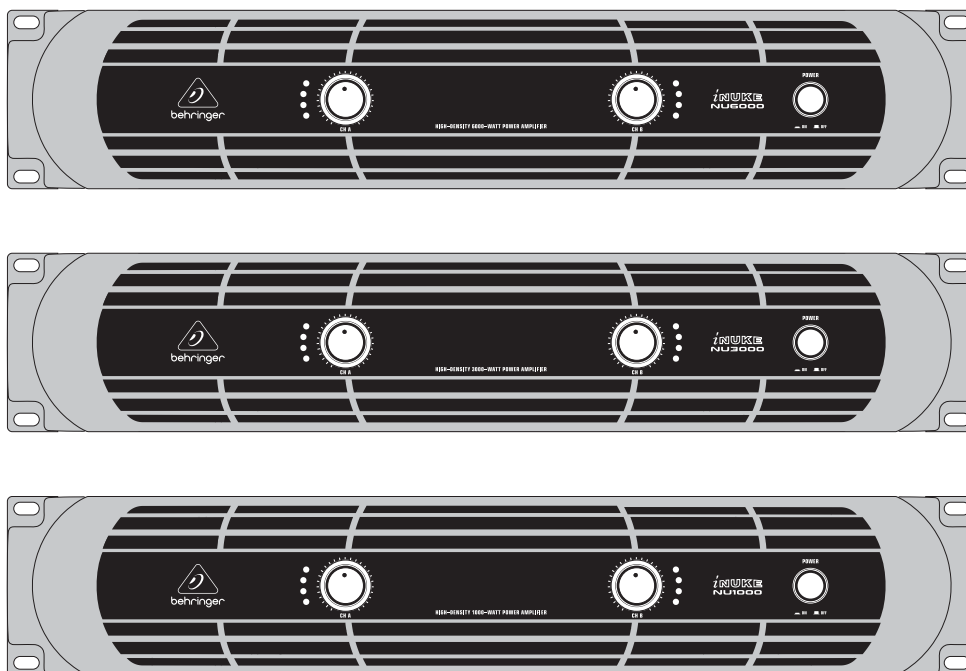




iNUKE NU6000/NU3000/NU1000

Ultra-Lightweight High-Density
6000/3000/1000-Watt Power Amplifiers

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

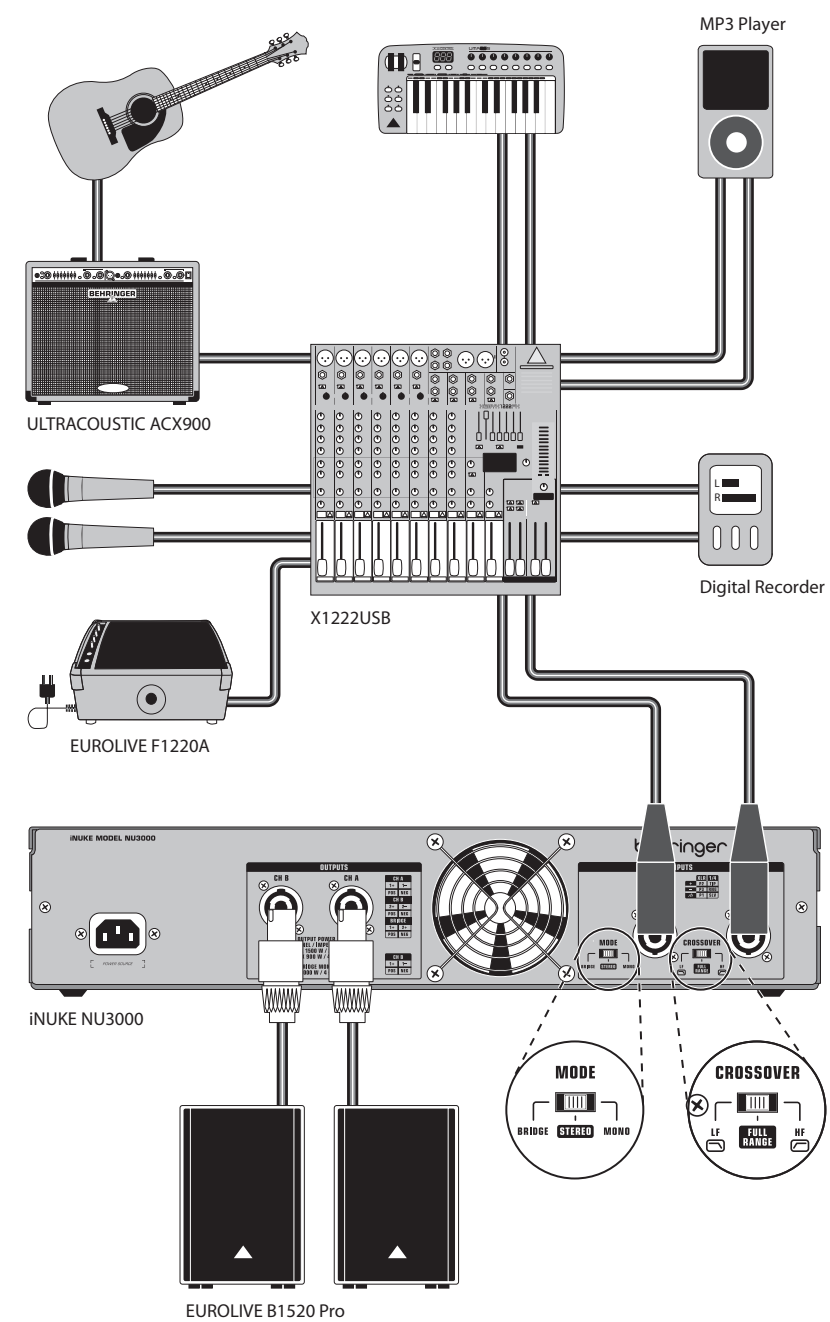
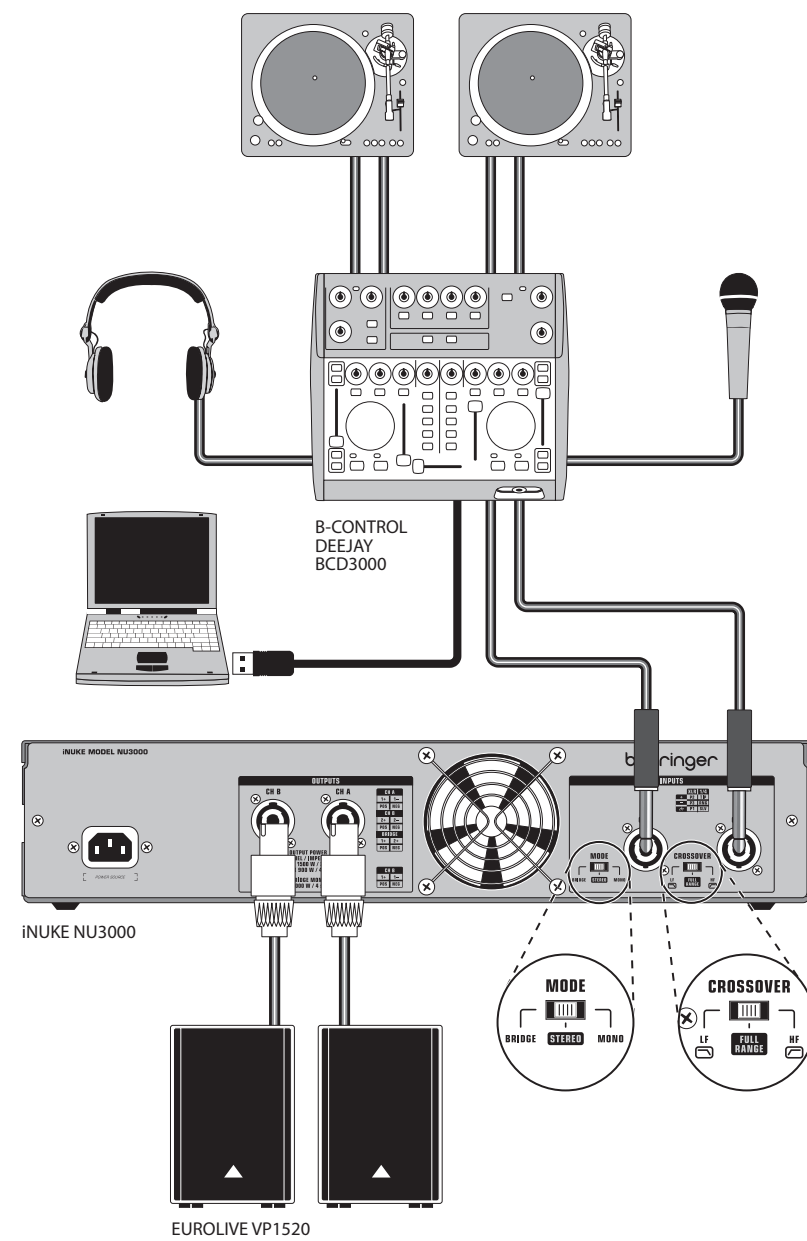
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

iNUKE NU6000/NU3000/NU1000 フックアップ

JP

ステップ 1: フックアップ

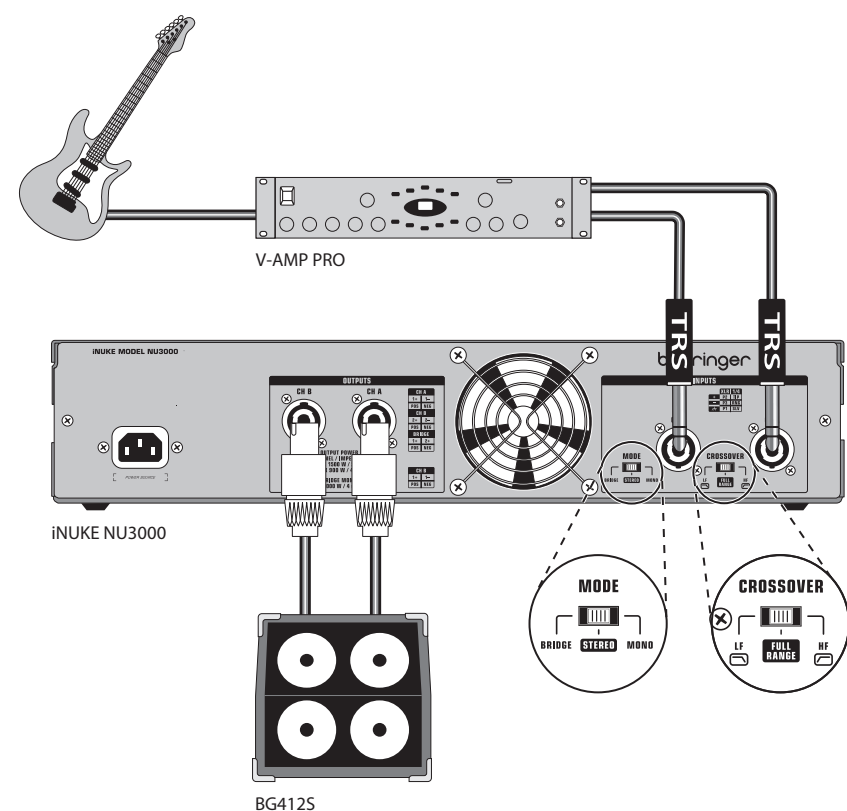


シンガー-ソングライターのライブ
(1 台のアンプリファイヤー / ステレオ・モード)

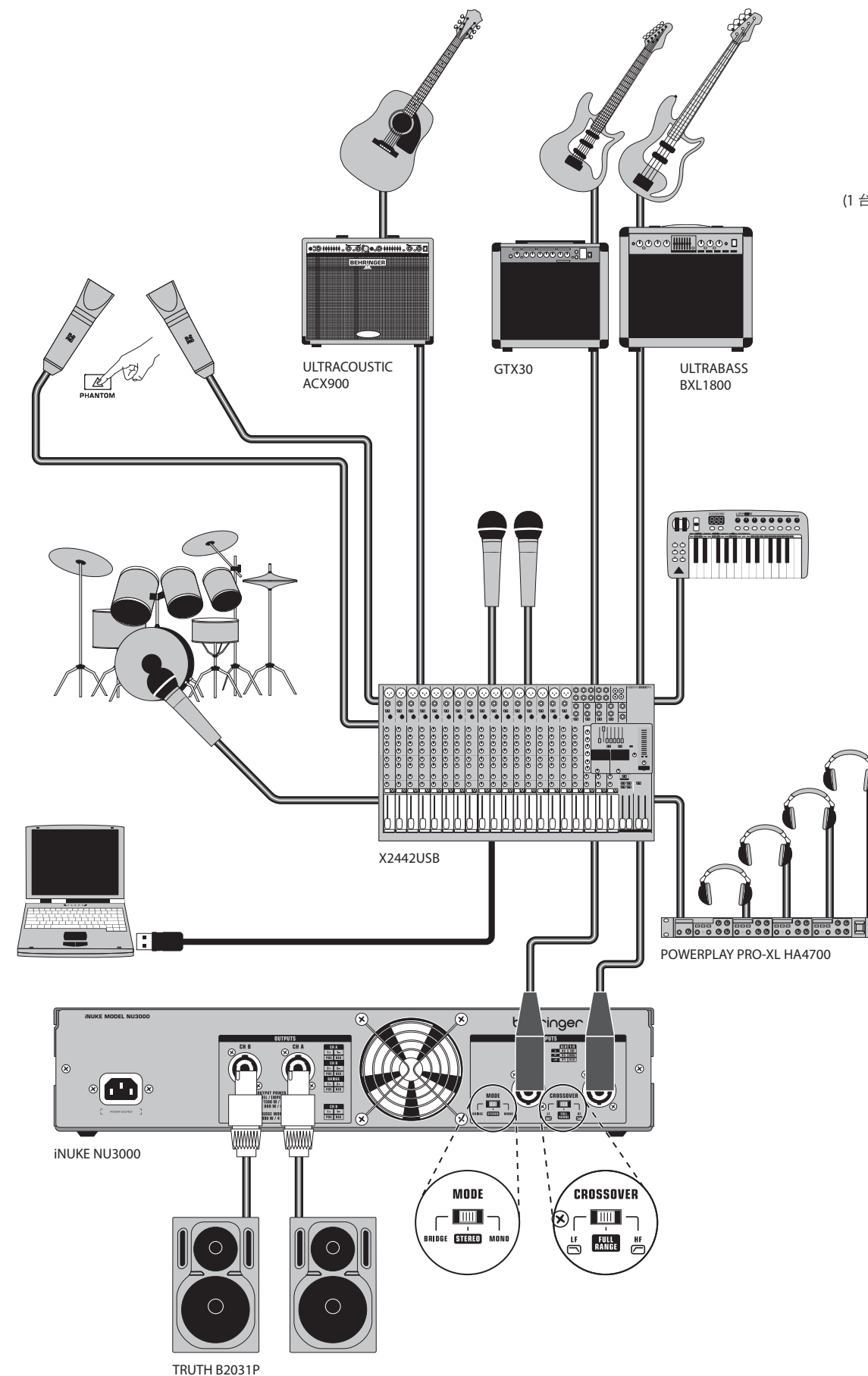
iNUKE NU6000/NU3000/NU1000 フックアップ

JP

ステップ 1: フックアップ



V-AMP Pro の接続
(1 台のアンプリファイヤー /
ステレオ・モード)



フルバンドをコンピューターにレコーディング
(1 台のアンプリファイヤー /
ステレオ・モード)

iNUKE NU6000/NU3000/NU1000 コントロール

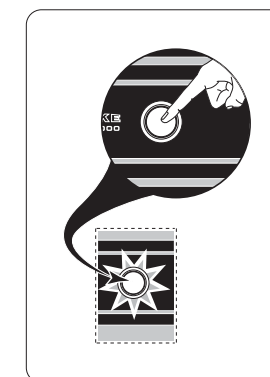
JP

ステップ 2: コントロール

SIGNAL および **LIMIT LED** は、それぞれのチャンネルの信号レベルを表示します。もし赤の **LIMIT LED** が頻繁に点灯するときは入力 **CH A/CH B** コントロールを下げてください。

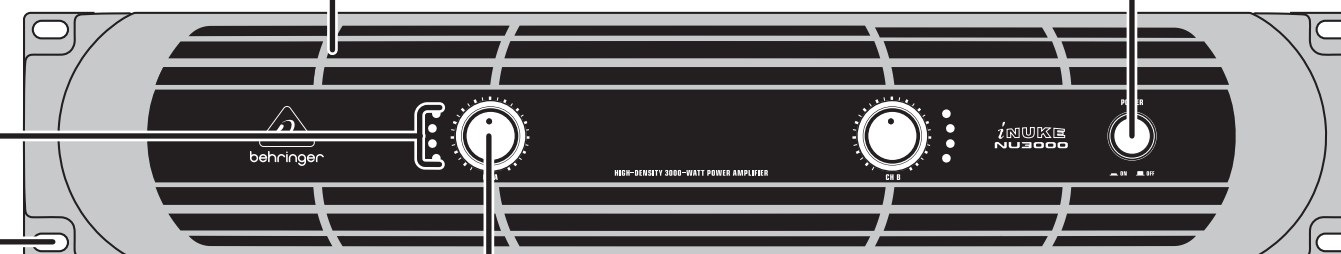
通気口開口部
“背面から前面への”
通気 設計により、
オーバー ヒートを
防止します。

POWER ボタン /
LED このボタンで
アンプリファイヤ
ーの電源をオン /
オフします。



-4 本の付属ネジと
ワッシャを使って
本 体をラックに固
定します (ドライバ
ーは付属していま
せん)。2 ラック・ス
ペースを必要とし
ます。

CH A/CH B コント
ロールこれらのノブを
使って入力レベル
を調節します。ゲイ
ンを上げるには時
計方向に、ゲインを
下げるにはノブを
反時計方向に回し
ます。

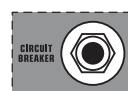


iNUKE NU6000/NU3000/NU1000 コントロール

JP

ステップ 2: コントロール

BREAKER (自動ヒューズ, NU6000 のみ)。問題が発生してブレーカーが自動遮断したら、まず問題を取り除き、その後このボタンを押してアンプを再び作動させることができます。従来のヒューズの代わりを果たすものです。



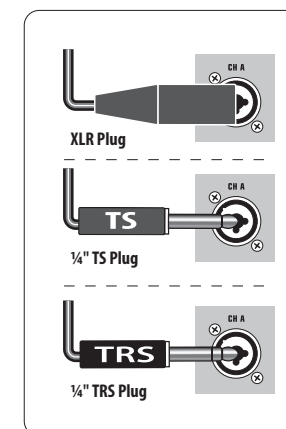
NU6000 のみ

ブレーカーの注意事項: もしブレーカーが作動した場合、ブレーカーをリセットする前に以下の作業を行ってください。

- ・ AC メインケーブルを抜いてください。
- ・ **POWER** ボタンを "OFF" にしてください。
- ・ すべての入力ゲインコントロールを下げてください。
- ・ ブレーカーをリセットして本体に電源を接続します。そして電源ボタンを ON にして、ゲインを任意のボリュームまでゆっくりと上げてください。

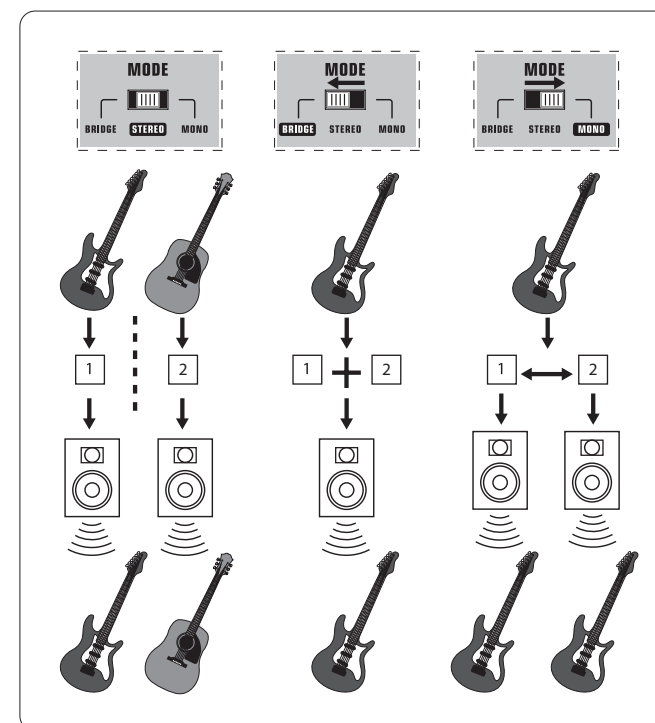
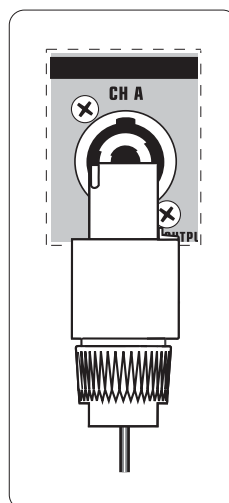
通気用ファンファンのスピードは自動的に調節され、トラブルのない動作を約束します。

XLR コネクタ、6.3 mm ステレオコネクタ (バランス)、6.3 mm モノラルコネクタ (アンバランス) を使用して、ラインレベルの入力信号をこれらのコンビネーションジャックにルーティングします。



回転ロック式スピーカー出力—回転ロック・プラグ付きのプロフェッショナル用スピーカーケーブルを使って、アンプリファイヤーをスピーカーに接続します。

電源の接続 対応する電源コード (同梱) を使ってこの IEC 電源コネクタに 接続します。



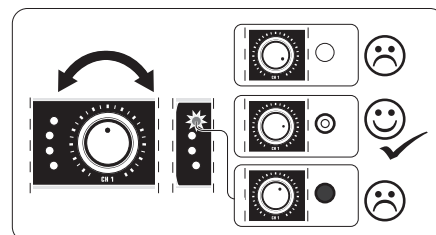
MODE スイッチ (モノ / ステレオ / ブリッジ) **MODE** スイッチを **MONO**, **STEREO** と **BRIDGE** のいずれかの位置に合わせ、アンプリファイヤーのモードを選択します。

CROSSOVER (クロスオーバー) スイッチで 3つのモード: フルレンジ (**FULLRANGE**)、**LF** (低周波クロスオーバー) および **HF** (高周波クロスオーバー) のいずれかを選択します。
LF モードでは信号の低周波のみを増幅します。HF モードでは、高周波のみを増幅します。LF および HF モードは通常バイアンプ方式で使います。

iNUKE NU6000/NU3000/NU1000 はじめに

ステップ 3: はじめに

- 1 アンプリファイヤーと音源の電源が OFF になっていることを確認します。
- 2 すべての CH A/CH B コントロールを完全に反時計方向へいっぱい位置に設定します。
- 3 音源 (ミキサー、CD プレイヤー、コンピューター) の電源を入れます。
- 4 POWER ボタンを押し、アンプリファイヤーの電源を入れます。
- 5 音源の出力レベルを設定します。
- 6 CH A/CH B コントロールを調節し、入力レベルを設定します。
- 7 もし LIMIT LED が頻繁に点灯する場合は、CH A/CH B コントロールを LIMIT LED がまれにしか点灯しなくなるまで下げます。このレベル設定により、信号の強さとアンプのヘッドルームの間に最適なバランスを得ることができます。



iNUKE NU6000/NU3000/NU1000 Bi-amping

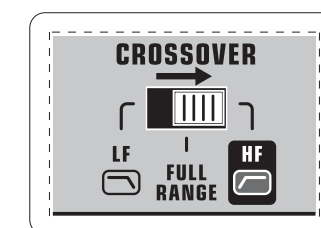
Step 4: Bi-amping

バイアンプ方式では、信号を高周波数帯と低周波数帯に分割し、それぞれの周波数帯を別のスピーカー・キャビネットへと割り当てます。サブウーファーは通常低周波数域を受け持ちます。信号をこのような方法で分割することで、スピーカーはより効率的に働き、全体としてよりクリーンなサウンドを得ることができます。

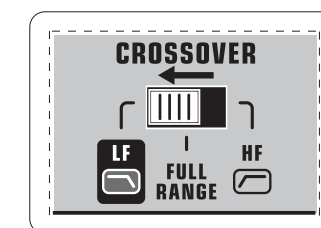
水平バイアンプ方式

水平バイアンプ方式では、iNUKE アンプ1台で高周波を処理し、別の iNUKE アンプで低周波を扱います。

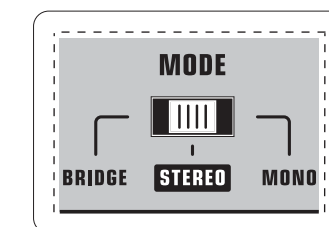
- 1 中/高周波用アンプリファイヤーのクロスオーバー・スイッチの位置を「HF」にします。



- 2 低周波用アンプリファイヤーのクロスオーバー・スイッチの位置を「LF」にします。



- 3 モード・スイッチの位置を「STEREO (ステレオ)」にします。



- 4 プロ用ツイストロック・コネクタの 4 極スピーカー・ケーブルを、各アンプの CH A 出力から、コネクター・ディストリビューション・パネルへ接続します。各アンプリファイヤーの A および B チャンネルが、1 本のケーブルで一緒にルーティングされます。

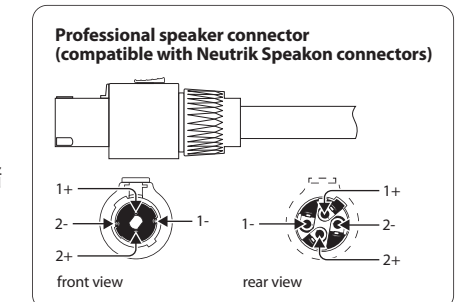
- 5 HF アンプの CH A 出力 (1+/1-) からディストリビューション・パネル左側出力の 1+/1- ピンへ、HF アンプの CH B 出力 (2+/2-) からパネル右側出力の 1+/1- ピンにルーティングされるようディストリビューション・パネルを配線します。

- 6 同様に、LF アンプの CH A 出力 (1+/1-) をパネル左側出力の 2+/2- ピンに、LF アンプの CH B 出力 (2+/2-) を、ディストリビューション・パネル右側出力の 2+/2- ピンにルーティングします。

- 7 4 極ケーブルでディストリビューション・ラックの出力端子とサブウーファーを配線します。各 4 極ケーブルの 1+/1- ピンに HF アンプ信号、2+/2- ピンに LF アンプ信号が伝送されます。

- 8 サブウーファーをバイアンプ・モード (BIAMPING) にします。2+/2- ピンの LF アンプ信号がサブウーファーに、1+/1- ピンの HF アンプ信号はサブウーファーを通過して出力ジャックへ伝送されます。

- 9 2 極スピーカー・ケーブルをサブウーファーの出力ジャックから、中/高周波用スピーカーへ接続します。1+/1- ピンの HF アンプ信号で中/高周波用スピーカーが駆動されます。

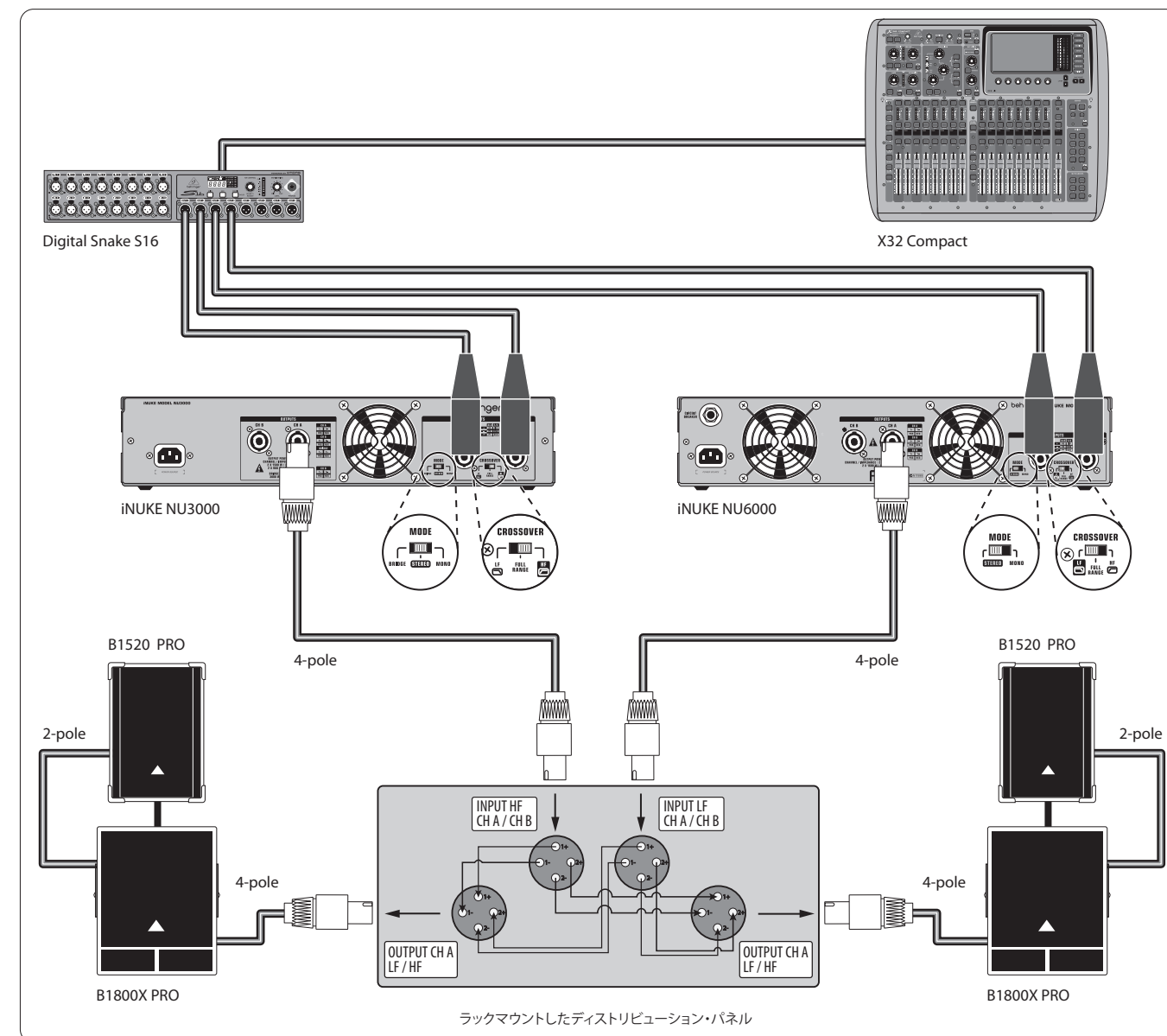


注意: お使いのサブウーファーが 1+/1- ピンのみで動作する場合、ディストリビューション・パネルを使用せず、サブウーファーを直接アンプリファイヤーに接続できます。この場合、各アンプリファイヤーのステレオサイドにつき 2 極ケーブルを 2 本ずつ使用します。一方のアンプを中/高周波用スピーカーに、もう一方のアンプをサブウーファーに接続します。

iNUKE NU6000/NU3000/NU1000 Bi-amping

JP

Step 4: Bi-amping



水平バイアンプ方式

垂直バイアンプ方式

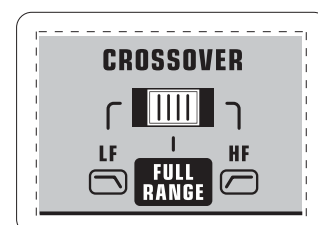
垂直バイアンプ方式は、各ステレオサイドにつきアンプリファアー 1 台を接続します。外部クロスオーバー機器で、オリジナル信号を、低周波信号と中/高域周波信号に分割し、それぞれを別々に増幅します。

1 外部クロスオーバー機器を、ステレオ信号を 100Hz 近辺で低周波数帯および、中/高周波数帯に分割するように設定します。

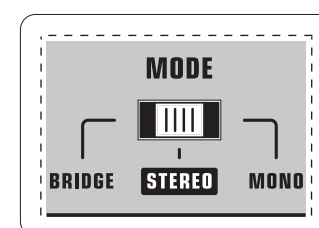
2 中/高周波信号をクロスオーバー機器から各アンプの CH A 入力に接続します。

3 低周波信号をクロスオーバーから各アンプの CH B に接続します。

4 左右のアンプリファアーの、クロスオーバー・スイッチの位置を「フルレンジ (FULLRANGE)」にします。



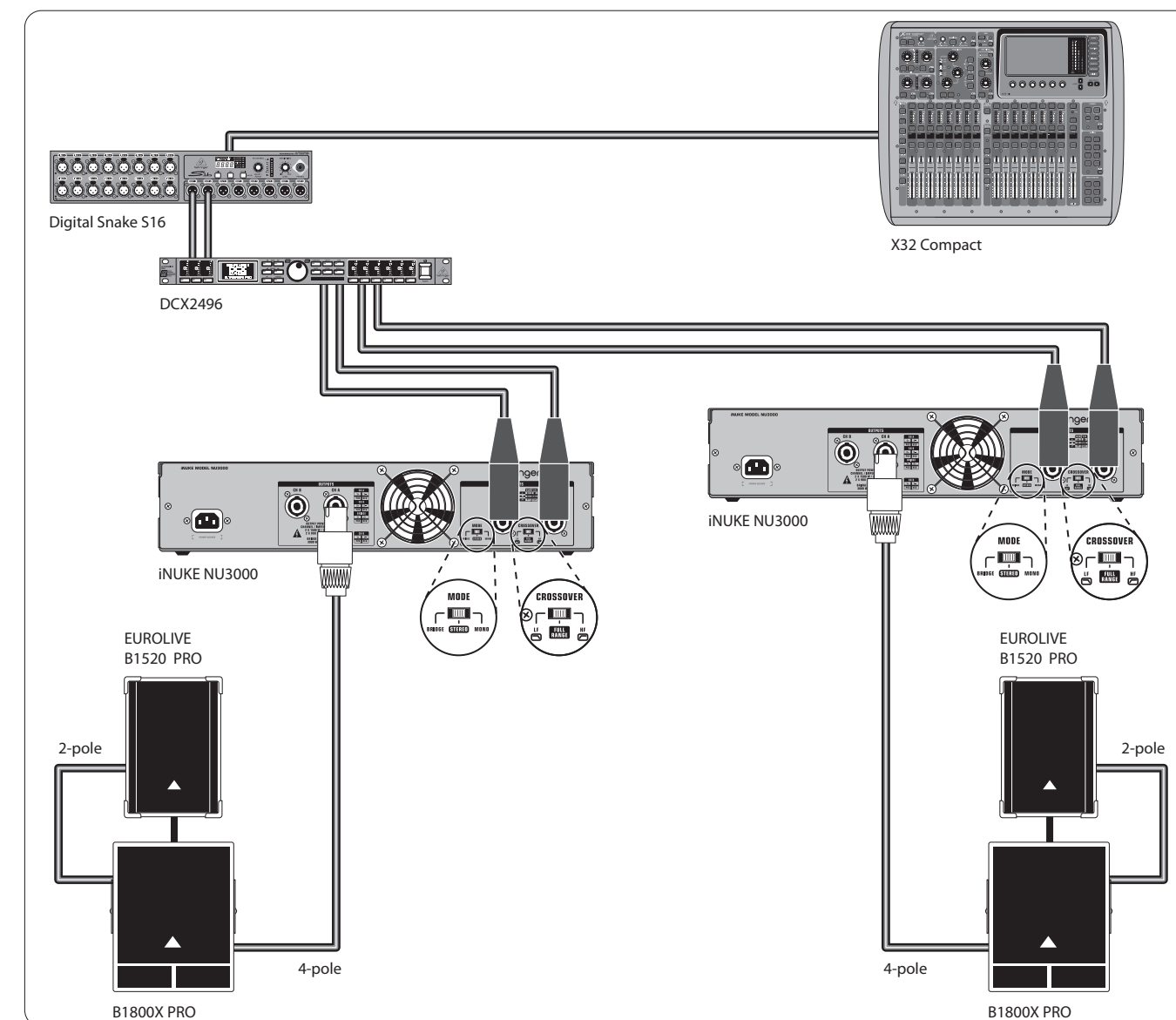
5 両アンプリファアーのモード・スイッチの位置を「ステレオ (STEREO)」にします。



6 各アンプの CH A 出力から、ツイストロック式プロ用 4 極スピーカー・ケーブルを使ってそれぞれ左右のサブウーファーへ接続します。

7 サブウーファーを「バイアンプ (BIAMPING)」モードにします。

8 サブウーファーから、ツイストロック式プロ用 2 極スピーカー・ケーブルを中/高周波用スピーカーに接続します。



垂直バイアンプ方式

JP 技術仕様

NU6000		NU3000		NU1000	
Output Power					
Maximum Output Power					
Stereo					
2 Ω per channel, stereo	—	2 x 1500 W	2 x 530 W		
4 Ω per channel, stereo	2 x 3000 W	2 x 880 W	2 x 310 W		
8 Ω per channel, stereo	2 x 1600 W	2 x 440 W	2 x 160 W		
Bridged mono					
4 Ω	—	3000 W	1050 W		
8 Ω	—	1520 W	620 W		
System					
Controls					
Front	Power switch Gain controls (channels A and B)				
Rear	Mode switch (stereo / mono) Crossover switch (LF / fullrange / HF) Circuit breaker	Mode switch (bridge / stereo / mono) Crossover switch (LF / fullrange / HF)			
Indicators					
Power	Amber/red backlit illuminated gain controls				
Limit (per channel)	0 dBFS				
Signal (per channel)	-24, -12, -6 dBFS				
Input Sensitivity					
For rated power into 4 Ω	0.775 V (0 dBu)				
Connectors					
Inputs	2 x combo jacks				
Input impedance	10 kΩ unbalanced, 20 kΩ balanced				
Outputs	2 x locking-style professional speaker connectors				
Output circuit type	Class-D				
Distortion, 1/8 rated power	<0.1%	<0.05%			
Frequency response	20 Hz to 20 kHz, +0 / -2 dB	20 Hz to 20 kHz, +0 / -1 dB			
Signal-to-noise	>100 dB				
Circuit Protection					
Cooling	Continuously variable speed fan Back-to-front air flow				
Amplifier protection	Thermal and DC protection Stable into reactive or mismatched loads				
Load protection	On/off muting, DC-fault power supply shutdown				
Power Supply, Voltage, Current Consumption (Breaker / Fuses)					
USA / Canada / Japan	100-120 V~, 50/60 Hz, (25 A 250 VAC)	100-120 V~, 50/60 Hz, 1.8 A (T 10 A H 250 V)	100-120 V~, 50/60 Hz, 0.64 A (T 6.3 A H 250 V)		
UK / Australia / Europe / Korea / China	220-240 V~, 50/60 Hz, (12 A 250 VAC)	220-240 V~, 50/60 Hz, 0.9 A (T 6.3 A H 250 V)	220-240 V~, 50/60 Hz, 0.32 A (T 3.15 A H 250 V)		
Power consumption @ 2 Ω per channel, 1/8 rated power	—	350 W	150 W		
Power consumption @ 4 Ω per channel, 1/8 rated power	560 W	170 W	70 W		
Mains connector	Standard IEC receptacle				
Dimensions / Weight					
Dimensions (H x W x D)	appr. 89 x 483 x 328 mm (3.5 x 19 x 12.9")	appr. 89 x 483 x 248 mm (3.5 x 19 x 9.8")	appr. 89 x 483 x 248 mm (3.5 x 19 x 9.8")		
Weight	appr. 5.3 kg (11.7 lbs)	appr. 3 kg (6.6 lbs)	appr. 2.8 kg (6.1 lbs)		

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You